

がん検診の受診及び精密検査の状況 (胃がん・大腸がん)

➤ 精度指標項目

「がん検診受診率」「要精検率」「精検受診率」「がん発見率」
「陽性反応適中度」

➤ 算出に使用したデータ

令和3年度地域保健・健康増進事業報告（政府統計窓口e-stat）

➤ 各指標の年度

○がん検診受診率

令和3年度地域保健・健康増進事業報告で示されている令和3年度の
受診率

○要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度

令和3年度地域保健・健康増進事業報告で示されている令和2年度に
おける精密検査の状況から算出

➤ がん検診受診率の計算式

40～69歳（胃がんは50～69歳、子宮頸がんは20～69歳）を対象

■ 大腸がん、肺がん

・ 受診率 = (受診者数 / 対象者数) × 100

■ 胃がん、子宮頸がん、乳がん

・ 受診率 = (前年度の受診者数 + 当該年度の受診者数 - 前年度及び当該年度における2年連続受診者数) / (当該年度の対象者数) × 100

※平成30年度から、国民健康保険被保険者のうちがん検診を受診した者を把握

➤ 各プロセス指標の計算式

40～74歳（胃がんは50～74歳、子宮頸がんは20～74歳）を対象

・ 要精検率 = 要精検者数 / 受診者数 × 100

・ 精検受診率 = 精検受診^{※1}者数 / 要精検者数 × 100

精検受診者数 = 要精検者数 - (精検未把握^{※2}者数 + 精検未受診^{※3}者数)

・ 精検未把握率 = 精検未把握者数 / 要精検者数 × 100

・ 精検未受診率 = 精検未受診者数 / 要精検者数 × 100

・ がん発見率 = がんであった者の数 / 受診者数 × 100

・ 陽性反応適中度 = がんであった者の数 / 要精検者数 × 100

※平成28年度から、「がんであった者」の表記が「がんであった者(転移性を含まない)」に変更され、原発性のみを計上

➤ 各指標を検討する際の留意点

各指標を検討するにあたっては、「がん検診に関する検討会中間報告 市町村事業におけるがん検診の事業評価の手法について（平成19年6月）」を参考に評価することが必要である。

・ 精検受診率以外の指標は、人口構成による違いや継続受診者の比率などの影響を受ける。
・ 要精検率、陽性反応適中度は、受診者の性・年齢、受診歴等のほか、検診実施機関の精度等の影響を受ける。

・ がん発見率は、有病率や早期がん割合等も踏まえて評価することが必要である。

1. 胃がん検診

<胃がん検診（50～69歳）：各指標の許容値及び目標値>

	受診率	要精検率	精検受診率	精検未受診率	精検未把握率	がん発見率	陽性反応的中度
許容値 上段:1年間隔 下段:2年間隔	—	7.6%以下	—	—	—	0.11%以上	1.5%以上
	—	7.7%以下	—	—	—	0.19%以上	2.5%以上
目標値	50%	—	90%以上	0%に近い方が理想	0%に近い方が理想	—	—

※出典：受診率の目標値「がん対策推進基本計画」（平成29年10月）：職場・人間ドック含む
受診率以外の許容値・目標値「がん検診のあり方について」（令和5年6月）

■ 各指標の達成状況

受診率※	要精検率	精検受診率	精検未受診率	精検未把握率	がん発見率	陽性反応適中度
46.3% (4.8%)	7.8%	82.7%	4.0%	13.3%	0.13%	1.85%

※（）外は国民生活基礎調査の令和4年受診率（40歳～69歳）
（）内は地域保健・健康増進事業報告の令和3年度受診率

達成

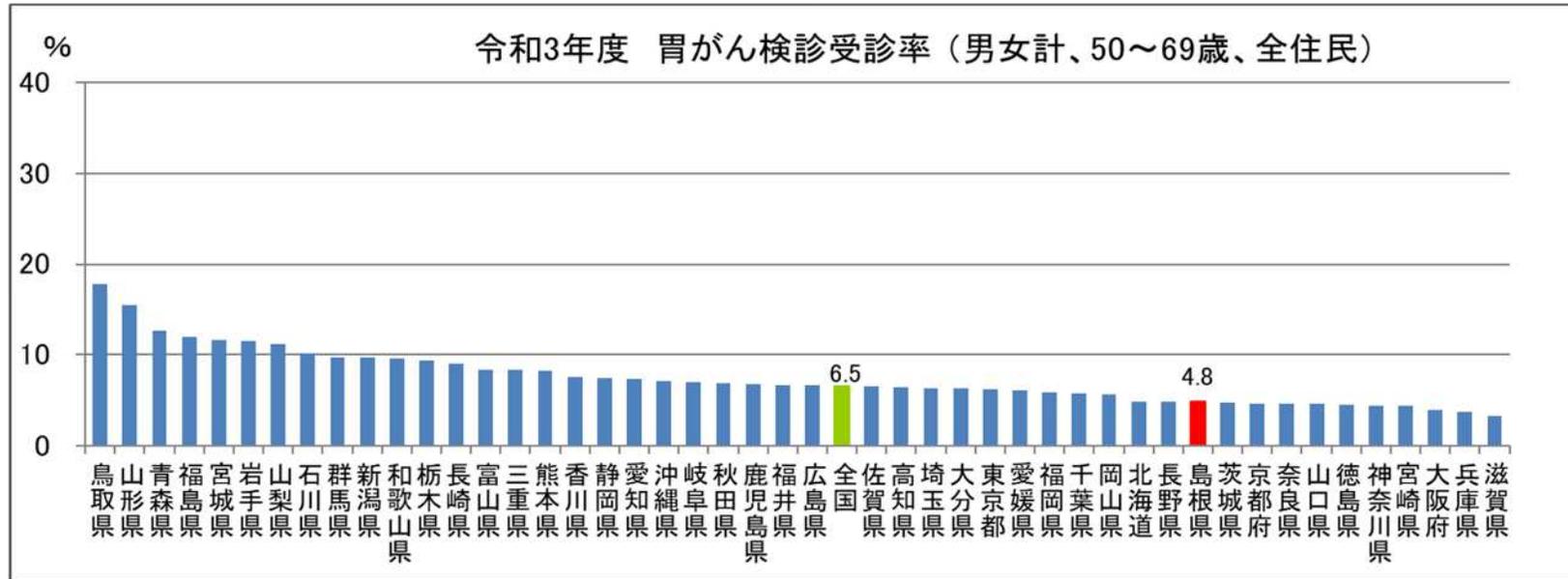
許容値～目標値の間

未達成

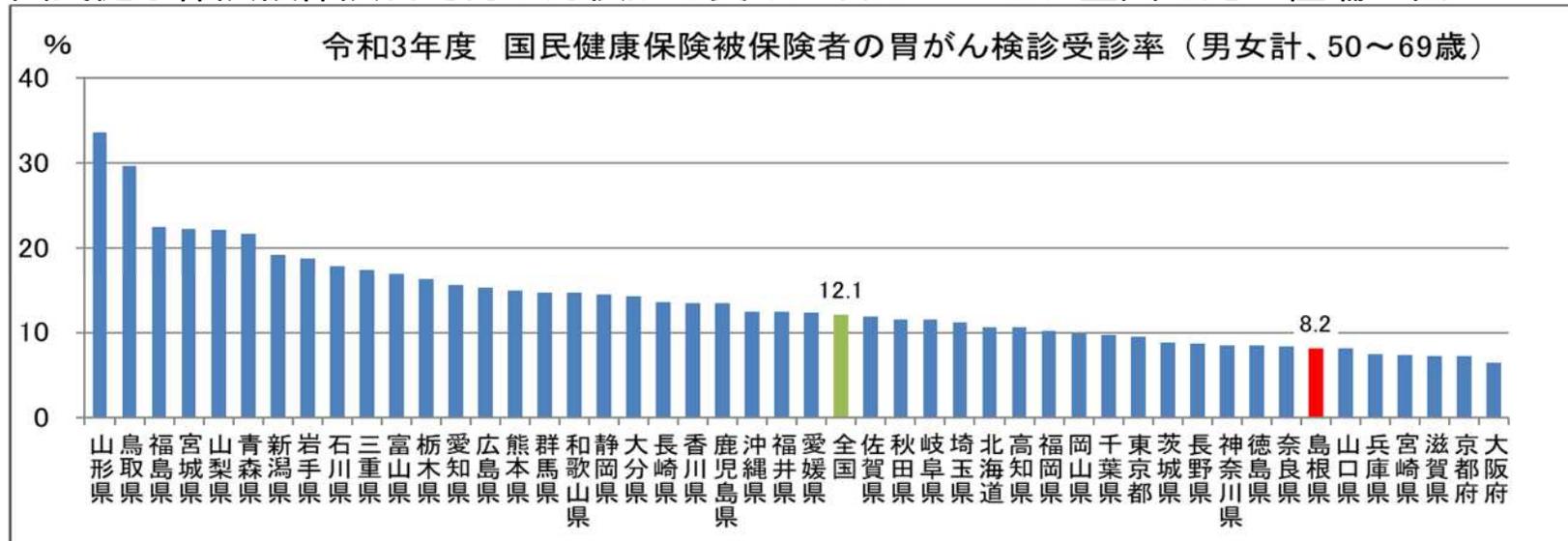
※胃がん検診については、平成28年度から胃内視鏡検査も新たに推奨
※1年間隔の市町村が多く、1年間隔で評価

(1) 令和3年度 胃がん検診受診率 (胃部エックス線・胃内視鏡検査実施分)

➤ 胃がん検診受診率 (全住民対象、50~69歳) は4.8%と、全国と比べ低く、全国でも低位



➤ 国民健康保険被保険者で胃がん検診を受けた者は8.2%と、全国と比べ極端に低い

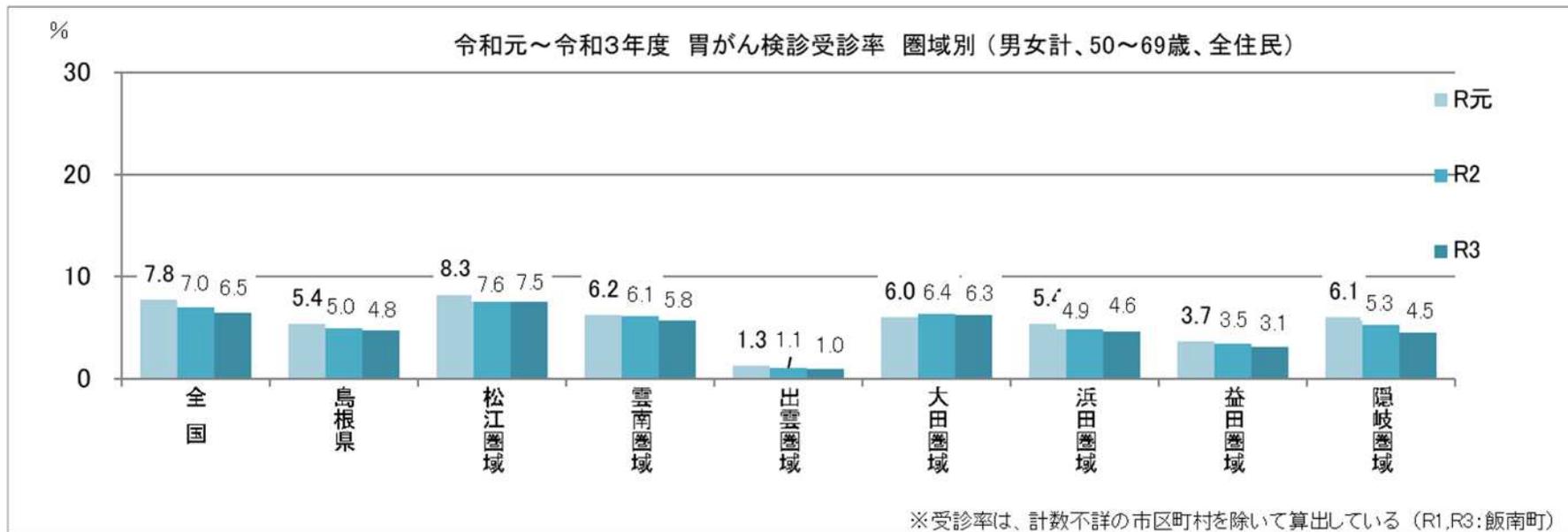
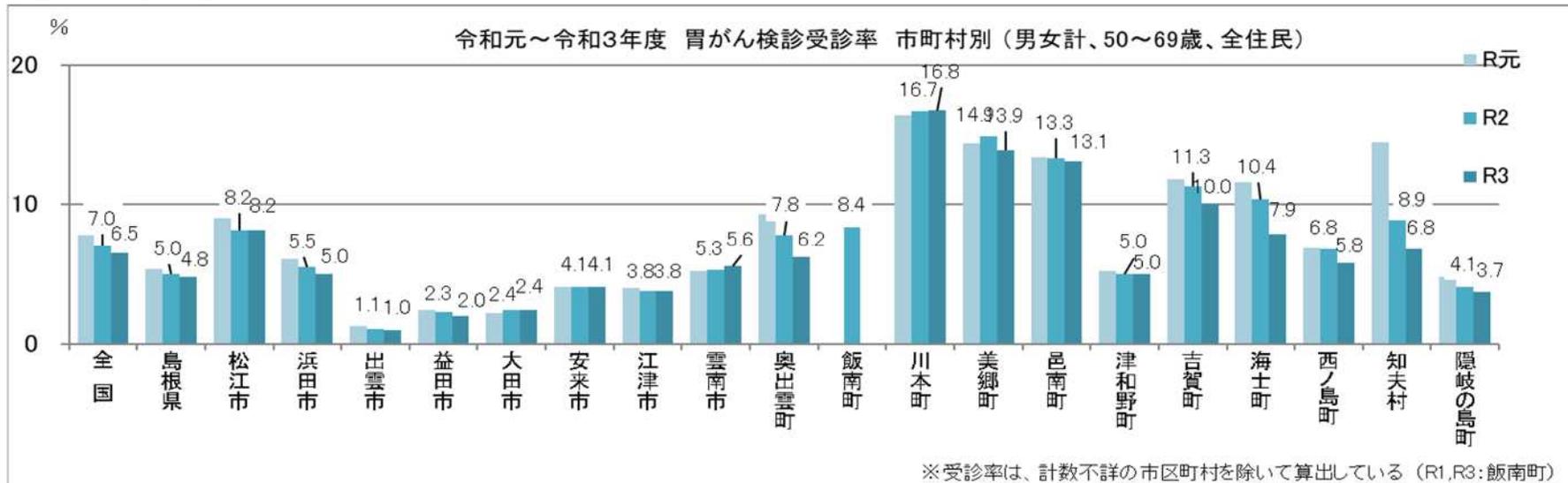


(資料：市区町村表第20-2表)

(1) 令和3年度 胃がん検診受診率（胃部エックス線・胃内視鏡検査実施分）

（資料：市区町村表 第20-2表）

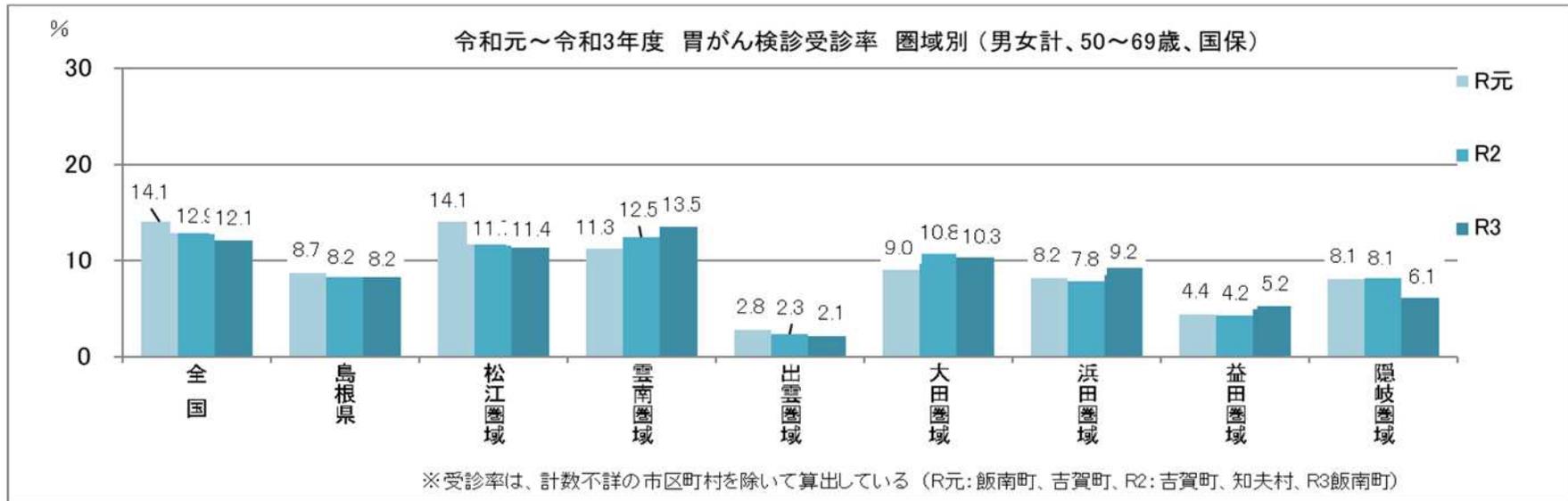
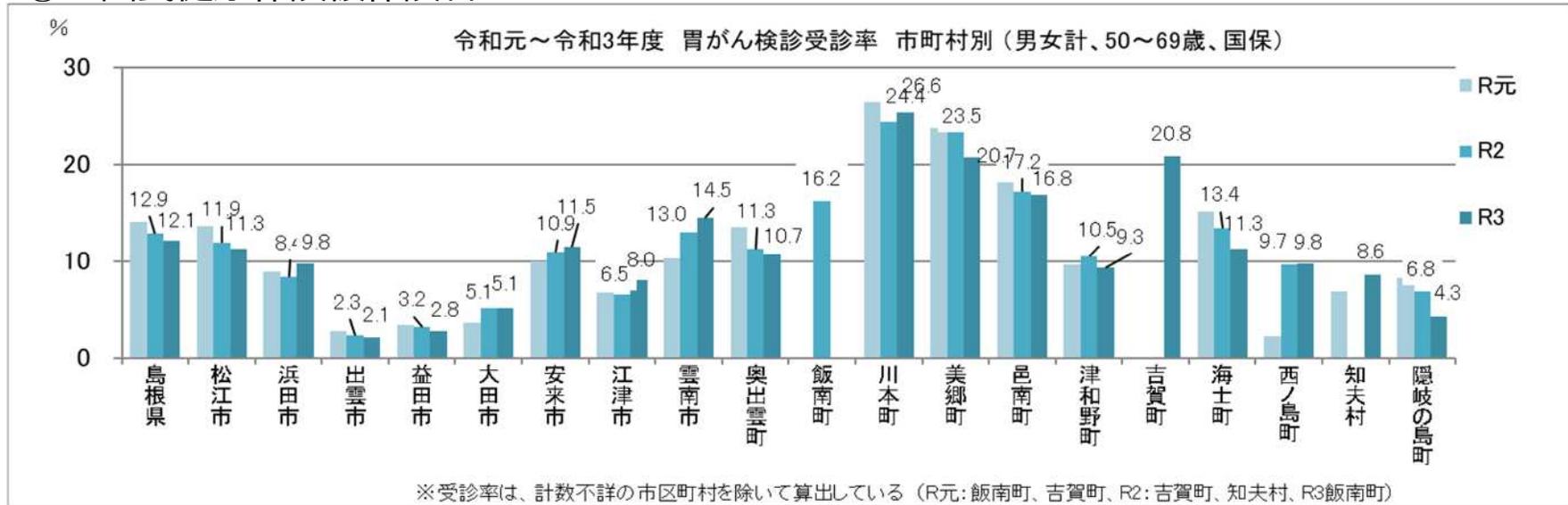
① 全住民



(1) 令和3年度 胃がん検診受診率（胃部エックス線・胃内視鏡検査実施分）

（資料：市区町村表 第20-2表）

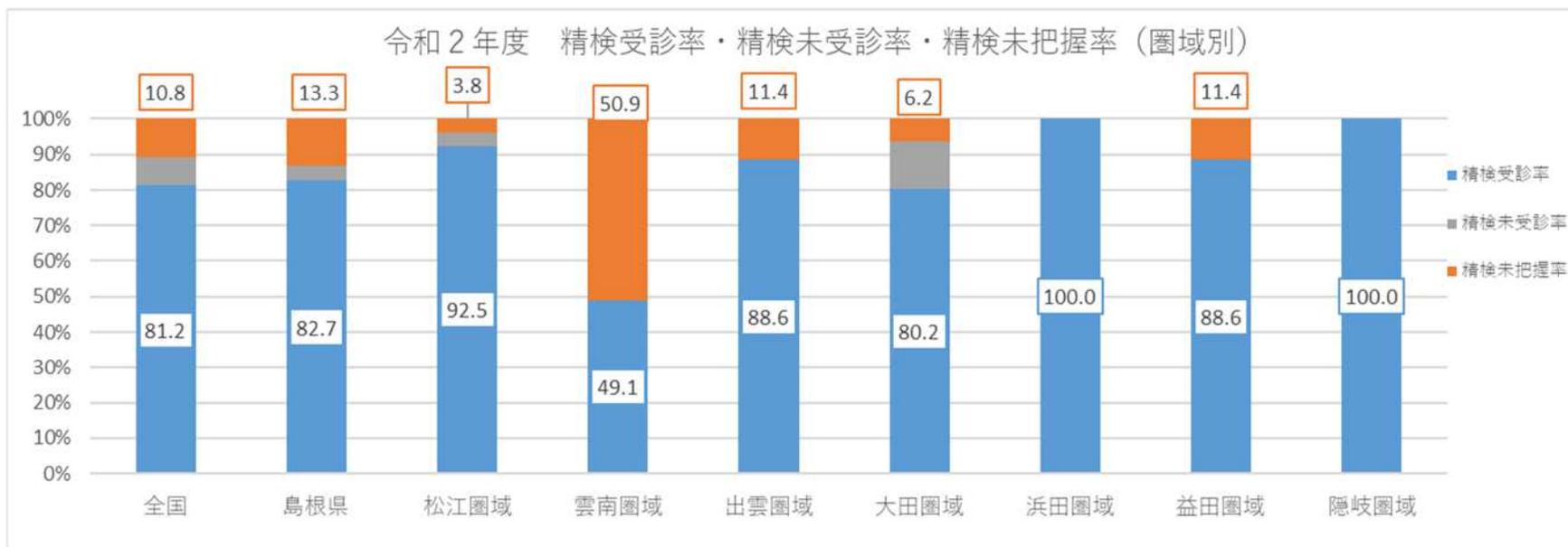
② 国民健康保険被保険者



(2) 令和2年度 胃がん検診 精検受診率・未把握率・未受診率

(男女計、胃部エックス線)

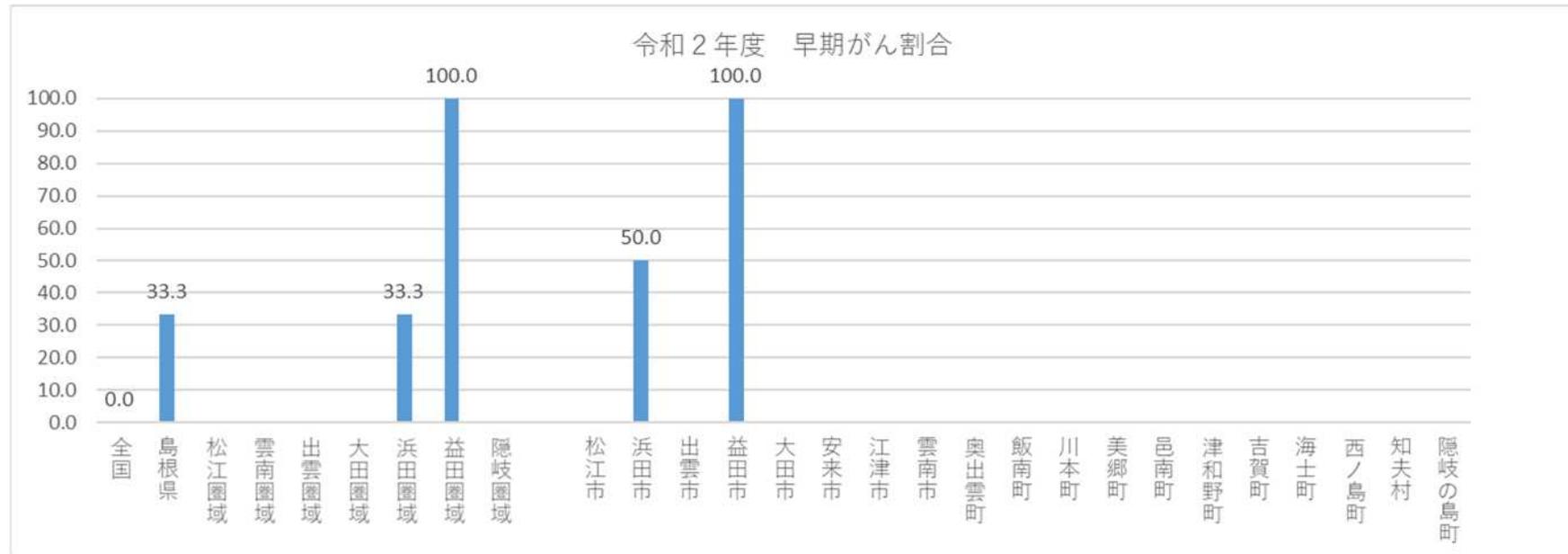
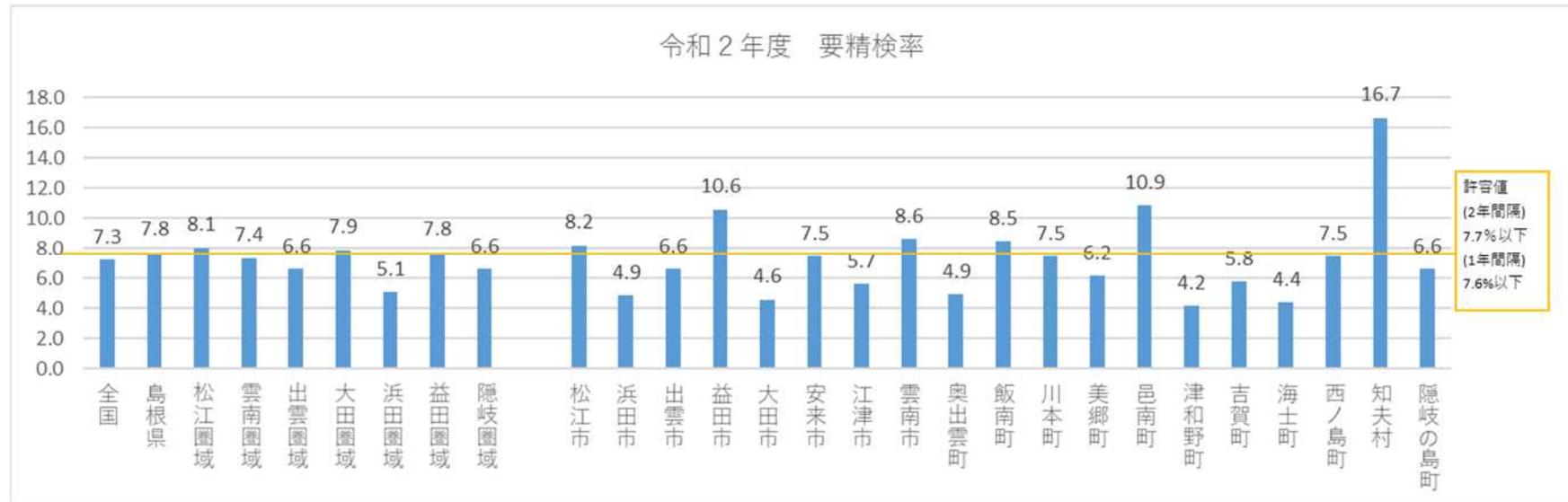
(資料：市区町村表 第21-1,22-1表)



(2) 令和2年度 胃がん検診 要精検率・早期がん割合

(男女計、50-74歳、胃部エックス線)

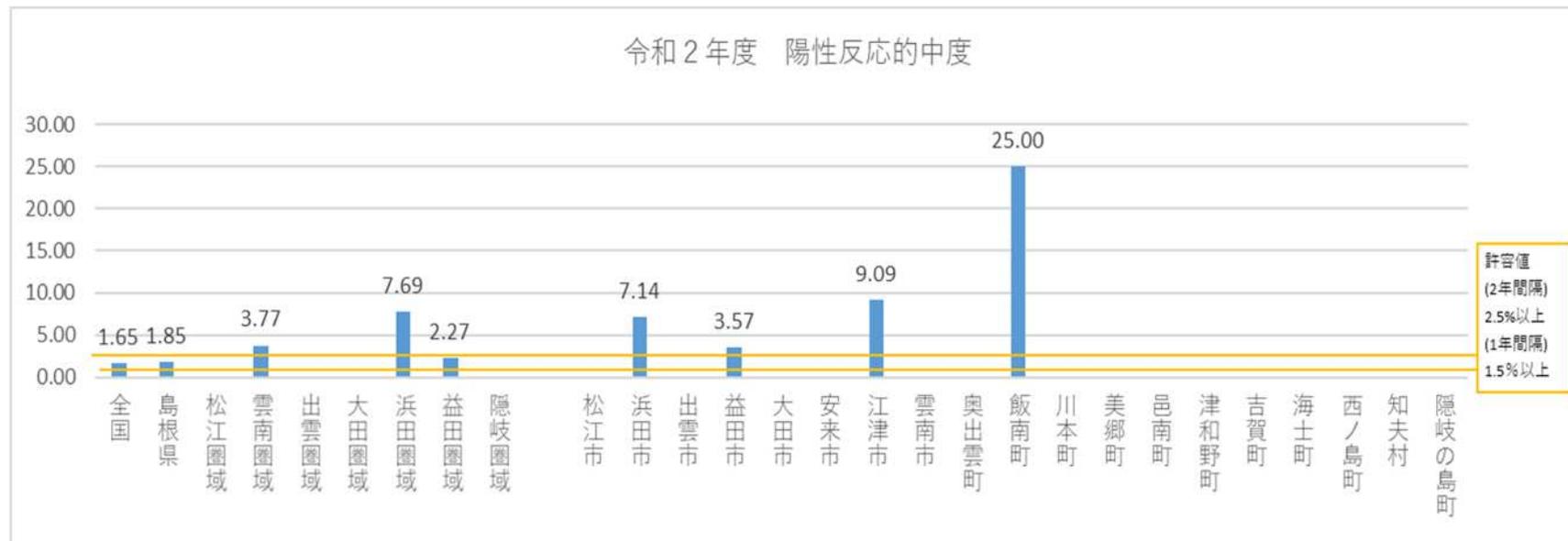
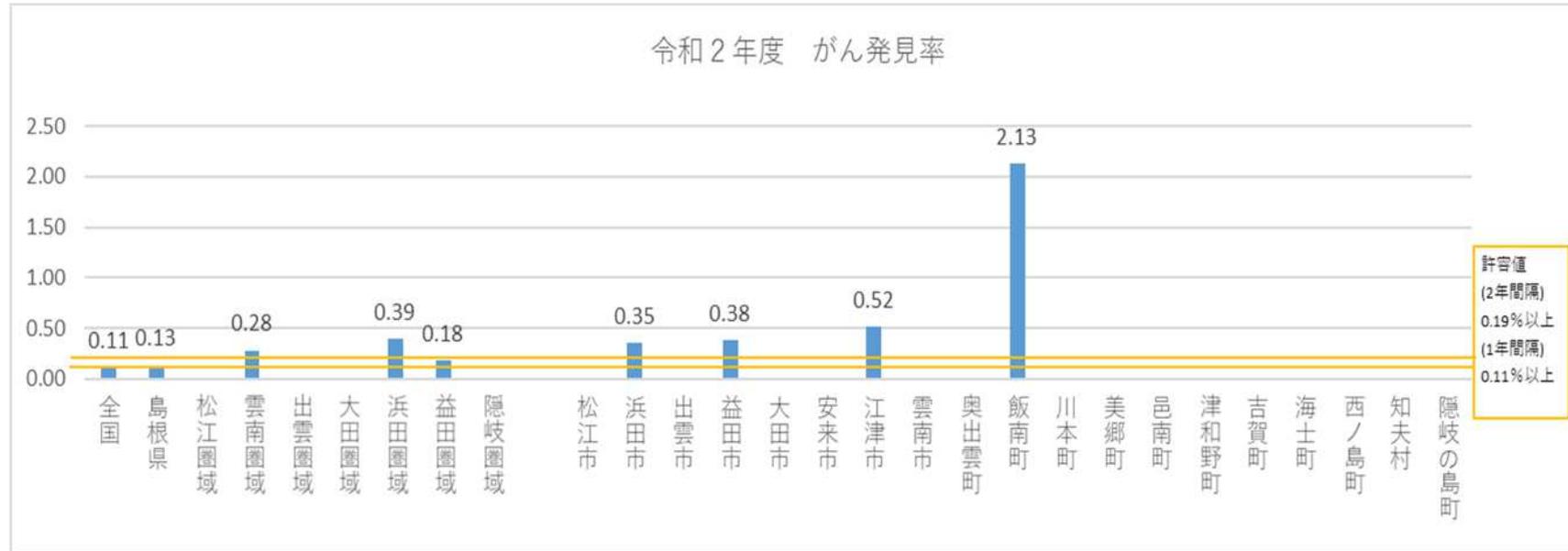
(資料：市区町村表 第21-1,22-1表)



(2) 令和2年度 胃がん検診 がん発見率・陽性反応的中度

(男女計、50-74歳、胃部エックス線)

(資料：市区町村表 第21-1,22-1表)



2.大腸がん検診

＜大腸がん検診（受診率40～69歳、受診率以外40～74歳）：各指標の許容値及び目標値＞

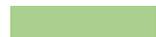
	受診率	要精検率	精検受診率	精検未受診率	精検未把握率	がん発見率	陽性反応的中度
許容値	—	6.8%以下	—	—	—	0.21%以上	3.0%以上
目標値	50%	—	90%以上	0%に近い方が理想	0%に近い方が理想	—	—

※出典：受診率の目標値「がん対策推進基本計画」（平成29年10月）：職場・人間ドック含む
 受診率以外の許容値・目標値「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」（平成20年3月）

■ 各指標の達成状況

受診率※	要精検率	精検受診率	精検未受診率	精検未把握率	がん発見率	陽性反応適中度
51.2% (7.1%)	6.9%	73.0%	11.1%	15.9%	0.17%	2.48%

※ () 外は国民生活基礎調査の令和4年受診率（40歳～69歳）
 () 内は地域保健・健康増進事業報告の令和3年度受診率

 達成

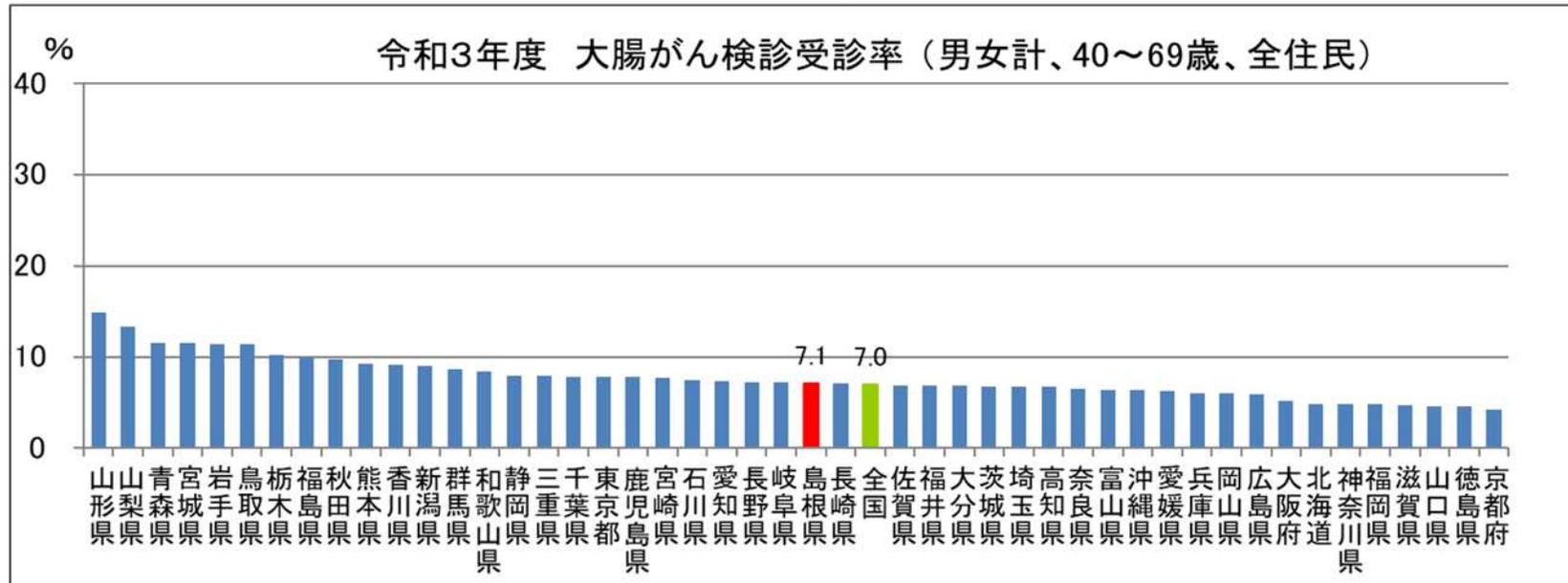
 許容値～目標値の間

 未達成

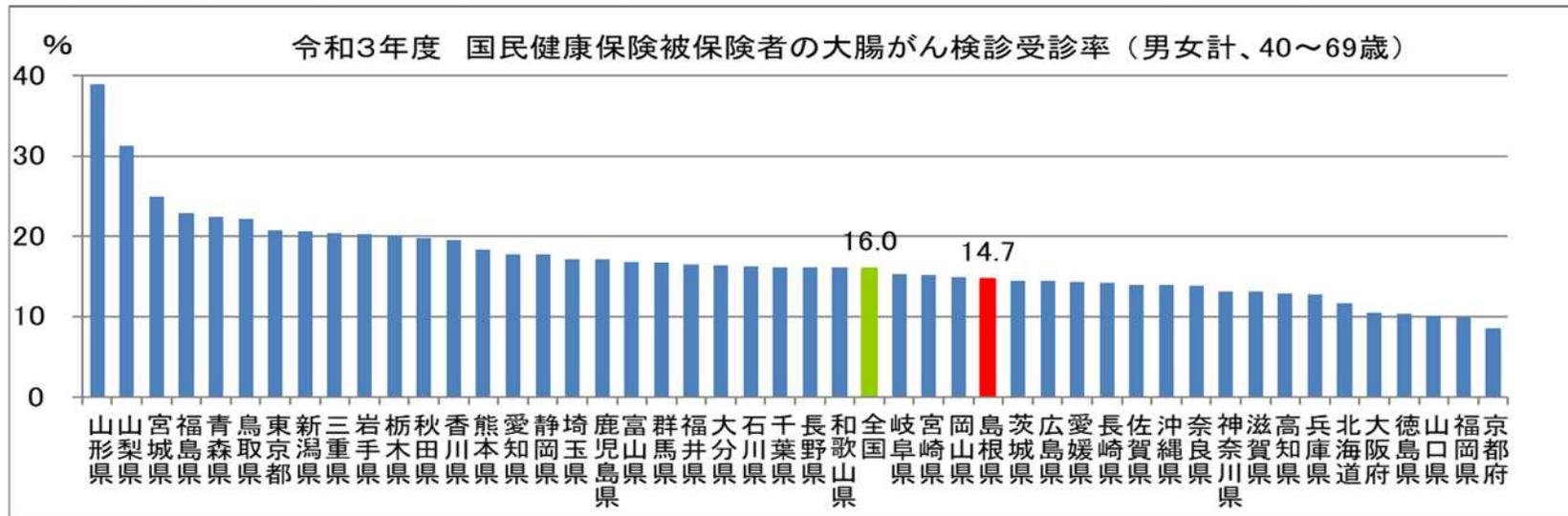
(1) 令和3年度 大腸がん検診受診率

(資料：市区町村表 第20-1表)

- 大腸がん検診受診率（全住民対象、40～69歳）は7.1%と、全国よりやや高い



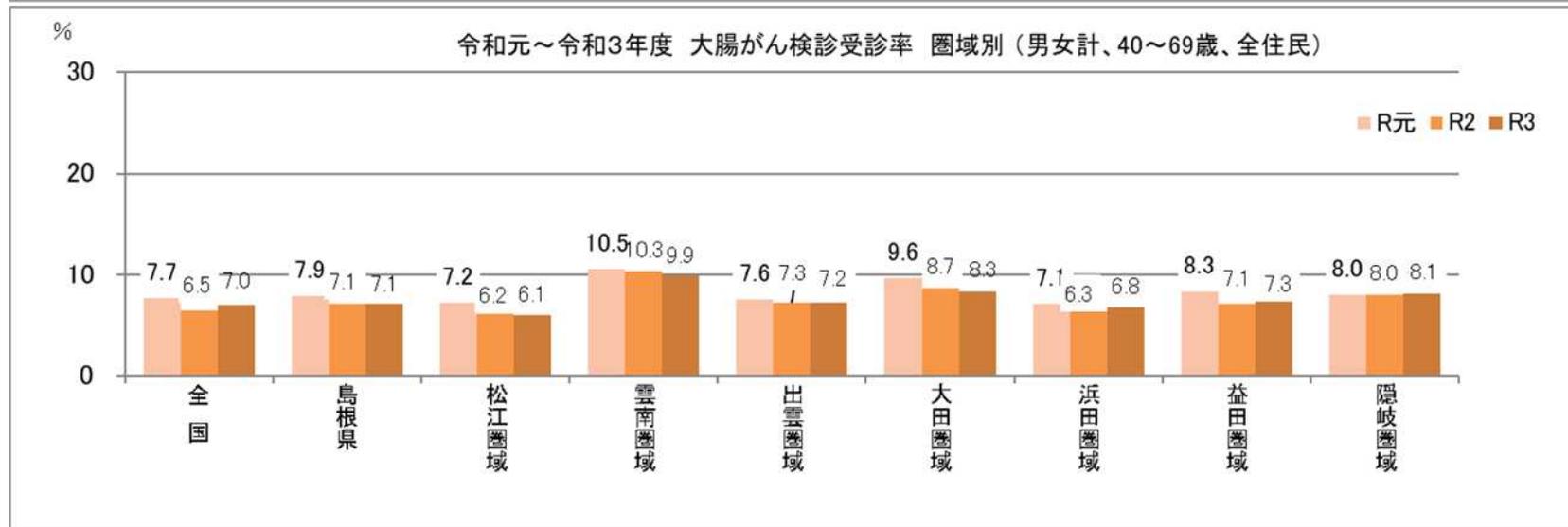
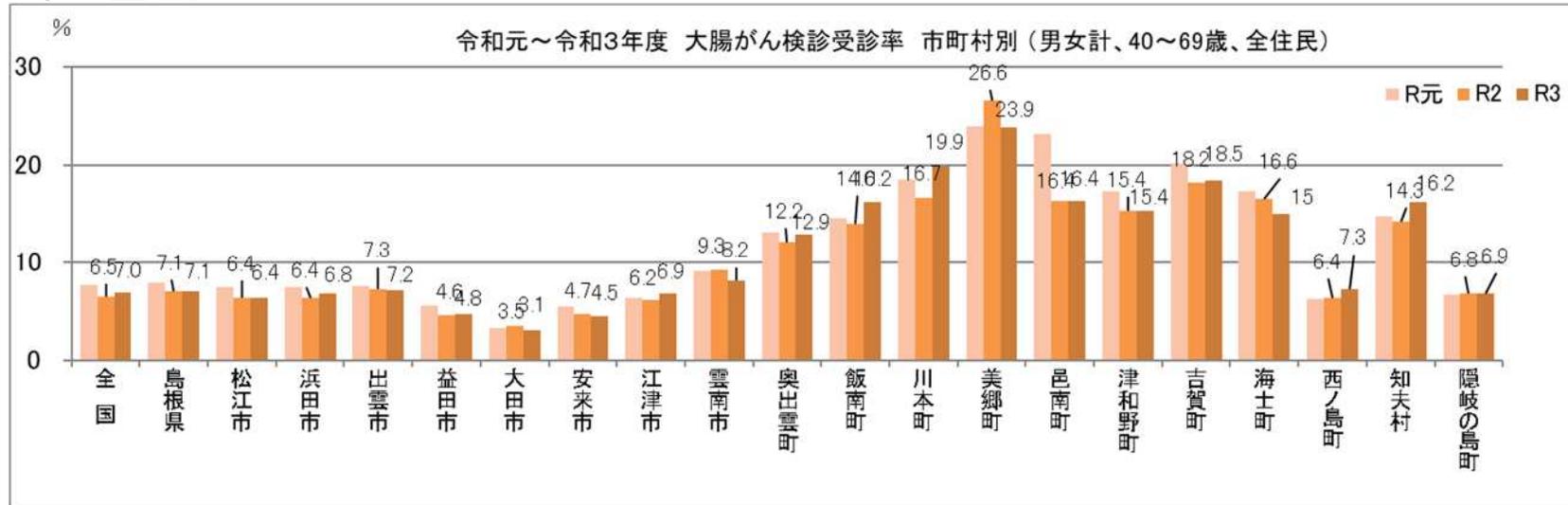
- 国民健康保険被保険者で大腸がん検診を受けた者は14.7%と、全国と比べわずかに低い



(1) 令和3年度 大腸がん検診受診率

(資料：市区町村表 第20-1表)

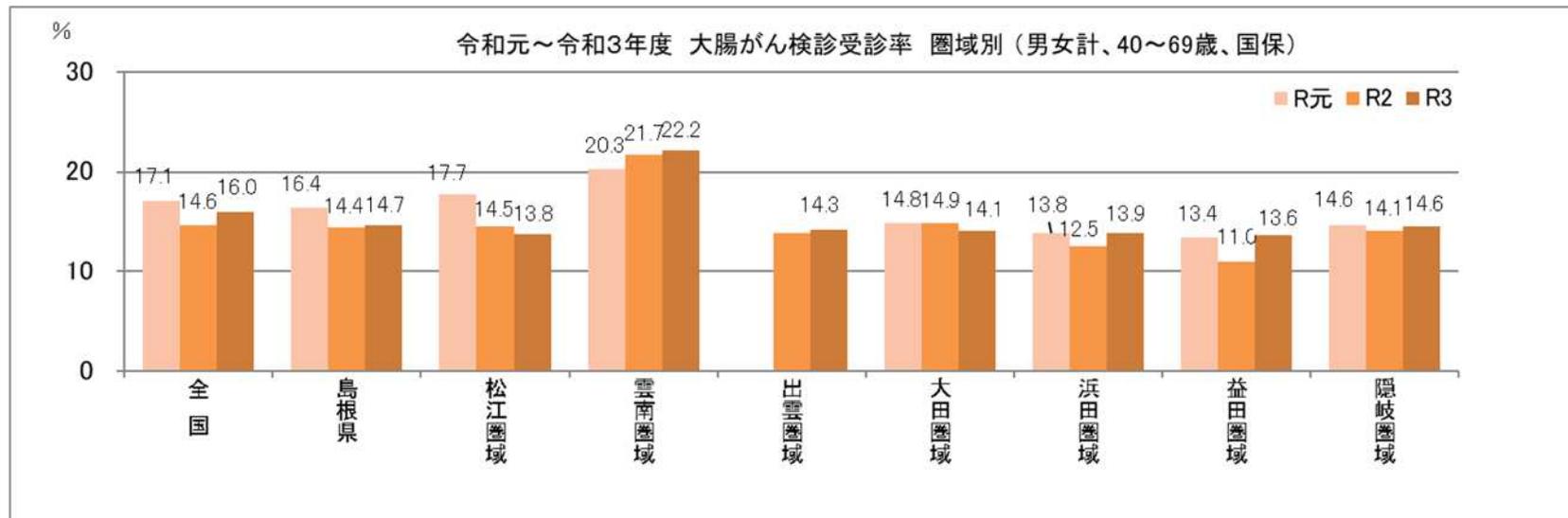
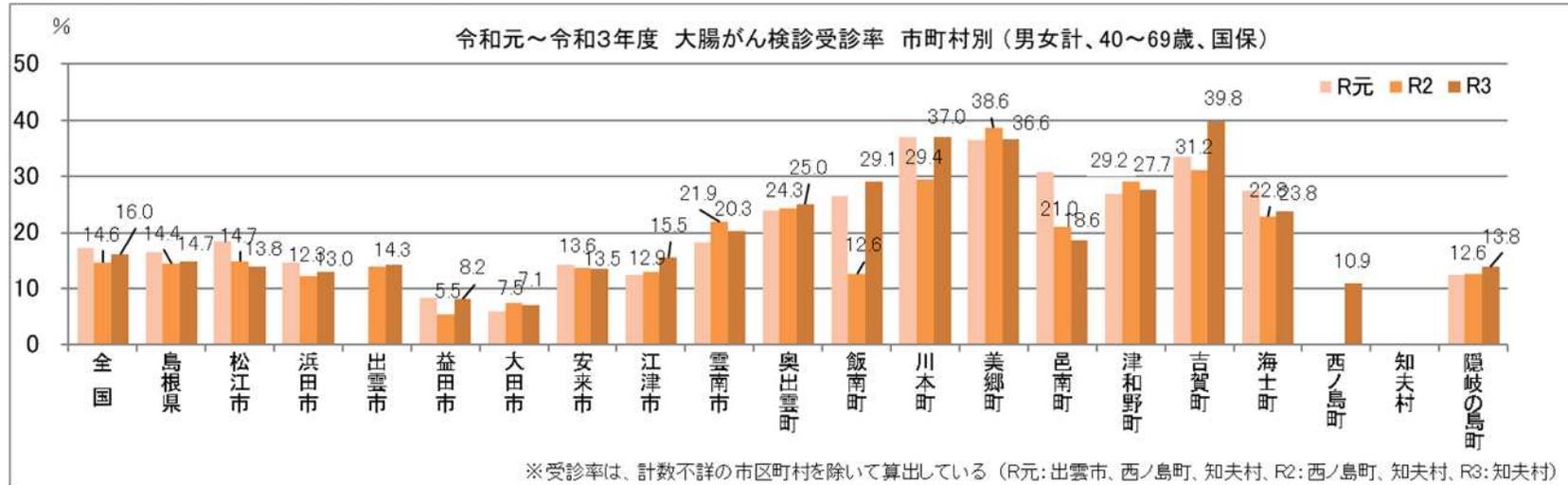
① 全住民



(1) 令和2年度 大腸がん検診受診率

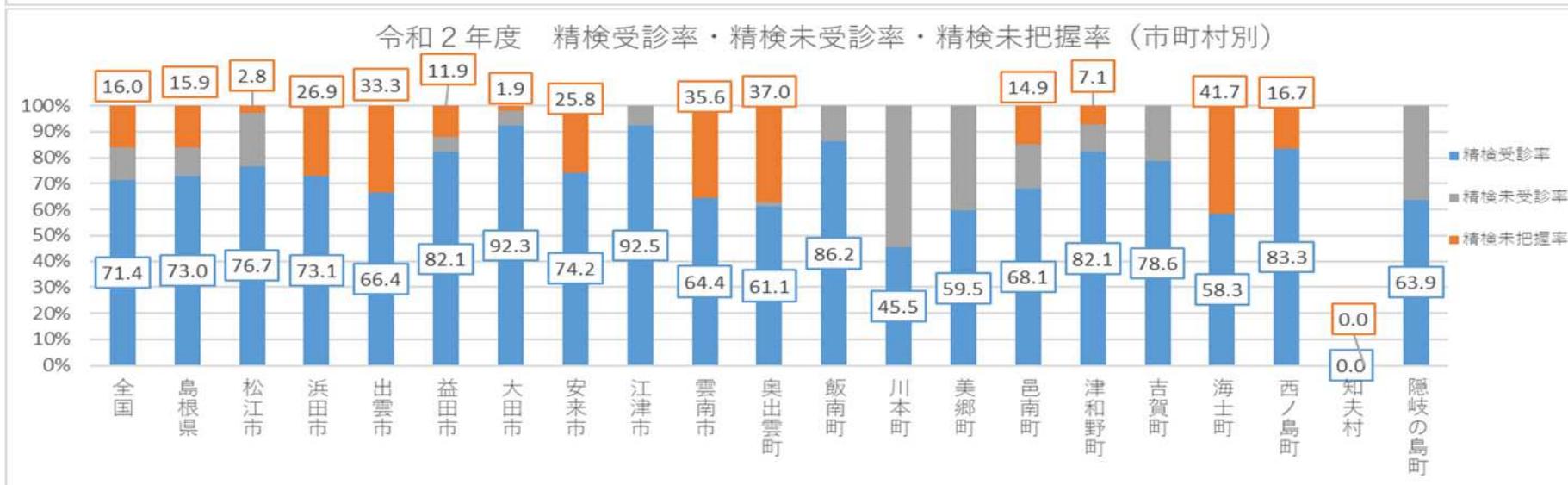
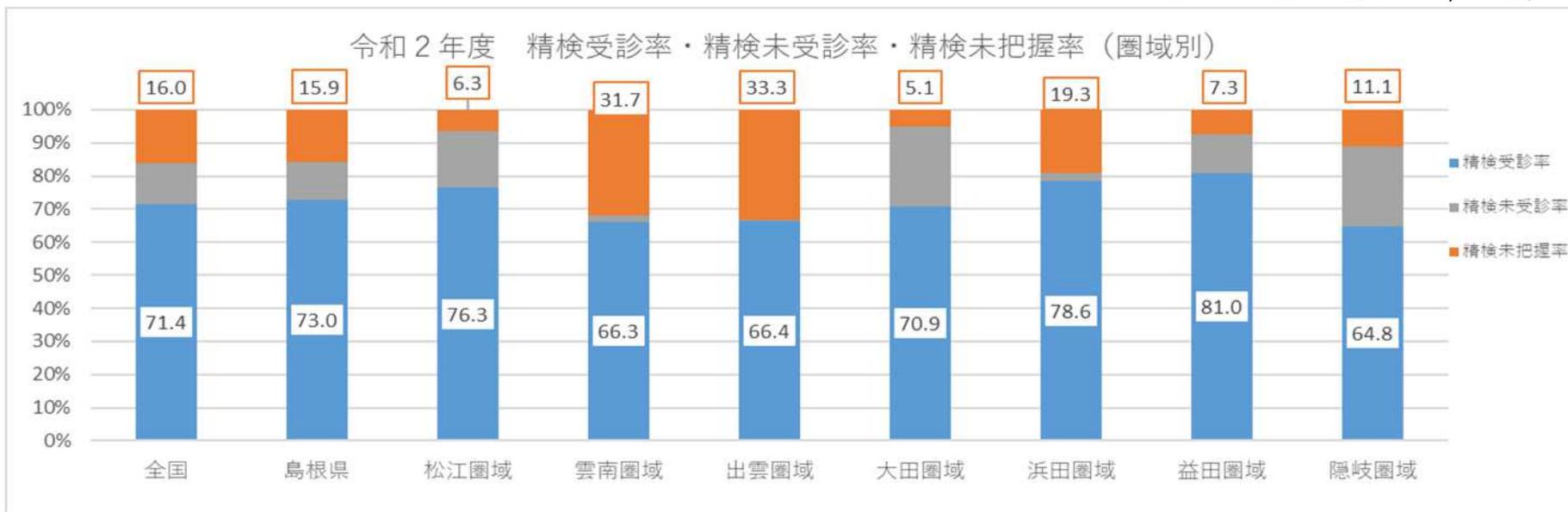
(資料：市区町村表 第20-1表)

② 国民健康保険被保険者



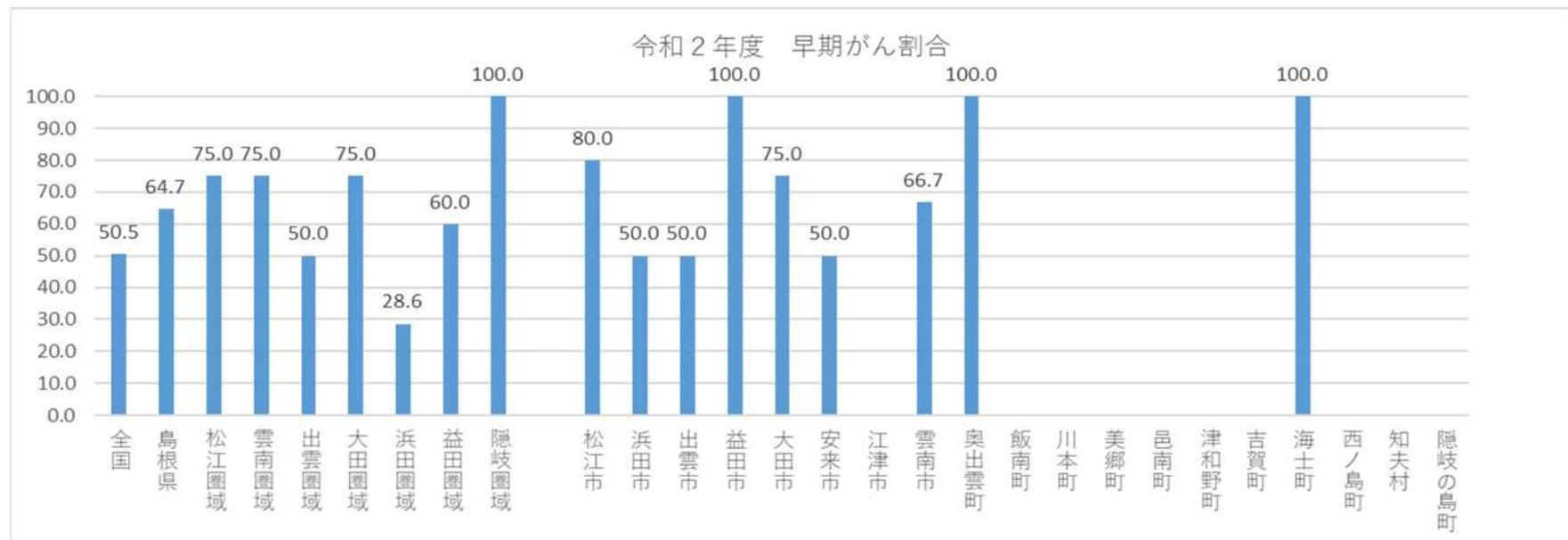
(2) 令和2年度 大腸がん検診 精検受診率・未把握率・未受診率 (男女計)

(資料：市区町村表 第21-1,22-1表)



(2) 令和2年度 大腸がん検診 要精検率・早期がん割合 (男女計、40-74歳)

(資料：市区町村表 第21-1,22-1表)



(2) 令和2年度 大腸がん検診 がん発見率・陽性反応的中度 (男女計、40-74歳)

(資料：市区町村表 第21-1,22-1表)

